

Weekly コラム

令和4年12月20日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

ワーケーション導入への期待

近年、ワーケーション導入への期待が高まっています。その背景としては、コロナ禍によるテレワークの普及・拡大に加え、働き方改革の推進による柔軟な働き方へのニーズ対応、混雑を回避しつつ安心して快適な旅行をしたいといった旅行に対する概念の変化などがあげられます。

国土交通省観光庁発行のパンフレット『『新たな旅のスタイル』ワーケーション&プレジャー』によると、ワーケーションとは Work (仕事) と Vacation (休暇) を組み合わせた造語で、テレワーク等を活用し普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うことをいいます。一方で、プレジャーとは Business (ビジネス) と Leisure (レジャー) を組み合わせた造語で、出張等の機会を活用し、出張先等で滞在を延長するなどして余暇を楽しむことをいいます。

ワーケーションは、大きく「休暇型」と「業務型」に分類されます。「休暇型」は、有給休暇を活用してリゾート地や観光地などで余暇を楽しみながらテレワークを行うスタイルです。「休暇型」は企業が福利厚生を目的に行っている場合が多く「福利厚生型」とも呼ばれています。

一方「業務型」は仕事をメインとするスタイルで、その前後などに休暇を楽しむといった形態です。「業務型」は企業や受入地域のニーズに合わせて更に「地域課題解決型」、「合宿型」、「サテライトオフィス型」の3つに分類されます。

「地域課題解決型」は、地域関係者の交流を通して地域課題の解決策を共に考えるものです。「合宿型」は場所を変え、職場のメンバーと会議、研修等を行うものです。「サテライトオフィス型」は会社が設置するサテライトオフィスや一般的なシェアオフィスを利用してテレワークをする勤務形態です。

では、ワーケーション導入によって、どのような効果が期待されているのでしょうか。国土交通省観光庁が公表するウェブサイト『『新たな旅のスタイル』ワーケーション&プレジャー』の内容に沿って、ワーケーション導入の効果を企業(送り手側)、従業員(利用者)、行政・地域(受け手側)に分けてみていきましょう。

まず送り手である企業側の効果としては、有給休暇の取得促進、帰属意識の向上、多様な働き方が認められているといった企業イメージ向上による人材流出の抑止と優秀な人材の確保、新しいアイデアやビジネスといったイノベーション創出の原動力に繋がること、CSR や SDGs の取り組みによる企業価値向上、地域との関係性構築によるBCP対策、地方創生の寄与などがあげられます。

次に、利用者である従業員側の効果としては、長期休暇が取得しやすくなる、働き方の選択肢の増加、ストレスの軽減やリフレッシュ効果、モチベーションの向上、業務効率の向上、リモートワークの促進、新たな出会いやアイデアの創出などがあげられます。働き方の選択肢が増えることで、自立的で自由度の高い働き方を選択できます。また有給休暇を取得しやすくなれば、特定の時期に旅行需要が集中するといった課題も解消します。

さらに、受け手となる地域側の効果としては、平日の旅行需要の創出、交流人口および関係人口の増加、関連事業の活性化・雇用創出、企業との関係性構築、遊休施設等の有効活用などがあげられます。

このようにワーケーションの導入によって、企業(送り手側)、従業員(利用者)、行政・地域(受け手側)のそれぞれに効果がもたらされることが期待されているのです。

記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。